

あゝが隊 新聞

Vol.67



2018年10月25日

編集: 上野 真純

地域おこし協力隊として活動できるのが、あと1年になりました。その1年を惰性で過ごすのではなく、いろいろなことに目を向け、広い視野で村内外を見て行動していきたいと思います。

天龍村での暮らしが、あと数日で2年目になります。月日の流れを早く感じます。

地域おこし協力隊として活動できるのが、あと1年になりました。その1年を惰性で過ごすのではなく、いろいろなことに目を向け、広い視野で村内外を見て行動していきたいと思います。

また、印象に残った言葉を書き連ねます。

足らないところを探さない。足りていてるところを探せばいい。

正解や結果が全てではなく、結果に向かう力や考える力、考える幅が大事。何を言っているのかが大事なのではなくどんな行動をしているのかが重要。明日の心配をするよりも目の前のこと全力で取り組めば、今日も明日も乗り越えられる。見えない未来を不安がつても仕方がない。目の前にある現実だけが真実なのだから。

明日の心配をするよりも目の前のこと全力で取り組めば、今日も明日も乗り越えられる。見えない未来を不安がつても仕方がない。目の前にある現実だけが真実なのだから。

何もできないのではなく、まだ何も始めていないだけ。

反省を繰り返しても意味はない。幸運を味方に付ける方法。

礼儀正しく生きる。

挨拶は自分からする。

将来の現実的な夢を誰にでも語る。

素直に生きる。

常に笑顔でいる。

背筋を伸ばして生活する。

にせんじカフェ 11月 営業日

営業日予定 10日(土)、16日(金)、30日(金)

営業時間 10時から17時まで

予定日以外でも

できるだけ多く店を開けたいと思います。



10月号 文: 柴田 大輔

こんにちは。今年は台風が多く道も崩れたりして不便です。国道を難なく通れている地元は恵まれていると改めて思いました。

さて、8月に来村した長野大学の学生に9月会いに行きました。長野大で合流して人生初の軽井沢へ。THE避暑地という感じでコロッケなど食べ歩きを楽しみました。彼らと仕事以外の関わりを

持つことができたことは嬉しいことでした。

回観される頃には帰つてきていますが10/18(木)・19(金)で長野大学へ行きます。これは協力隊としてお邪魔するので来月の新聞で詳細を報告します。

ついでなすですが、旬が過ぎて種が多いものや実が固いものが増えてき

ました。それでも調理すれば美味しいだけます。最近は自分なりの調理方法を探しています。今はネットで検索したり、人が作ったものをまねしたりしています。

最後に、はるちゃんと緑瑠お疲れ様でした。2人のおかげで楽しかつたです。また呑もな。



なぜ一年?

色々な理由や事情が挙げられます。自分が未熟だった、と言うのが一番大きな理由だと考えています。協力隊という特殊な活動をする中で求められる、能力やスキルのなさを強く痛感することが度々あります。人としても未熟でした。このよう感じ始めた時期から、一度協力隊の一年を振り返り、自分自身を見つめ直す必要があると強く感じました。正直、いろいろと悩みましたが、結果的に一年で辞める決断をしました。

昨年の十一月に協力隊に就任した添田緑瑠です。突然ではあります、今年の十月末で地域おこし協力隊を退任することになりました。一年間という短い期間ではありました、本当に多くの方にお世話になりました。ありがとうございました。

退任します。

今後のこと

退任後、海外に語学留学に行くことにしました。天龍村での生活は自分が持っていた都會での常識を良い意味で壊してくれました。いかに自分の考え方・視野が狭かったのかを感じると同時に、もっと多くの文化や価値観に触れたい、と好奇心が強くなっていました。また学生時代から海外に漠然とした興味関心があったこともあり、良い機会だと思いました。このような道に進むことに決めました。

最後に

自分は、中学→大学まで続けた陸上競技で何度も辛い時期を、経験してきました。おそらく、次の場所でも楽しい経験だけでなく、辛い経験をすることがあります。次、辛い時期が訪れた際に、しっかりと天龍村での経験を活かし、対処できるようにします。うまくいかないことが何度あろうとも挑戦し続ける精神だけは失わないように心掛けていきます。添田

「天龍村はお祭りづくしの神“有”月」

こんにちは。地域おこし協力隊の本多です。1年で最も好きな季節がやってきたと思ったら、冬が秋を一気に追い抜いてしまいそうな雰囲気の10月(神無月)です。朝晩の冷え込みが一段と厳しくなってきました。

今日は村内で沢山のお祭りが執り行われており、民俗芸能や地域独自の神事に関心の強い自分には、天龍村の文化的奥深さ・複雑さを思い知らされると同時に、知的好奇心を刺激させられる興味深い1ヶ月になっていると感じます。

手始めに松島の十五社祭り、次に大河内のお万様の祭り、そして自分も少しだけ参加させていただいた満島神社秋祭りと続いている。満島は一番大きなお祭りだけあって見ごたえ抜群、とくに掛け太鼓は圧巻でした！

ゆらゆら変遷記～天龍村Ver.～【初瀬健太】

今年も残すところ2か月となりました。10月中旬からグッと気温も落ちてきて、目覚まし時計が鳴り響いてから布団を出るまでに時間がかかるようになってきました。南端だけれど、長野県だけあって地元(佐賀県)よりも寒くなるのが早いです。

大河内はなおさらです。そんな気候にもかかわらず、未だに(これを書いてる今日は10月16日)稻刈りが終わっていません。9月の新聞には10月の新聞を書くころには稻刈りは終わってるだろうなことを書いていますが、見事に終わってません。発芽米になりそうで心配です。9月からずつと愚図ついた天気のおかげで新野のライスセンターのコンバインがまわって来ない状況です。

村でコンバインを所有してくれないかなーっという思いが日に日に増していますが、難しいですかね。10年後の大河内やその周辺で稻作が維持されるよう取り組んでいくのであれば、コンバインもあっていいのかなと思いますが、別の方法で圃場を管理していくよう進めていくのなら、買うのはもったいないですね。とりあえず、10月27日のおあがりで祭り用に少しはざかけをしました。ワクワクと不安と入り混じっています。

10年後どうなっているんでしょうか。ただその場限りではなくて、思い付きで・気まぐれでやるのではなくて、数か年計画的具体的なゴールがあって、それを逆算していくつかのポイントを定めて取り組んでいかないと、根本的には何も変わっていかないんだろうなって思います。当たり前のことですし、自分自身にも当てはまるのですが。もちろん、必ずしも変わっていかなければならないわけでもないですし、刹那的である存在もありだと思います。

どういう在り方であっても、毎日を自分自身の色で塗りつぶしていく人が多いところは、今日も明日も10年後もちゃんと各々の思いに近い姿でそこにありそうな気がします。

満島神社秋祭りには、2日目のみ、朝から参加させていただきました。外部から来た私を快く迎え入れてくださった温古団の皆様にこの場を借りて心からの感謝を申しあげます。ありがとうございました。

最近、すっかり封印していた写真撮影を少し復活させてみました。景色を撮るのも好きですが、人物撮影のほうが楽しいと感じます。特にお祭りなどの特別な日かつ人が集まる場には捉えたい瞬間がありすぎて、一瞬一瞬を掴まえるのに一苦労です。

今から来年1月の霜月神楽3本立てに心を躍らせている今日この頃ですが、まずは今、そして冬の間にやるべきこと、やりたいことの一大整理が優先事項ですね。ひとつひとつきちんと片づけていくことの大切さを身に染みて感じる毎日です。



まえたの天龍山暮らし～入門～ 文:前田 禁 禁 禁 禁 禁 禁 禁 禁 禁 禁 禁 禁

そろそろストーブを出さなきゃなあという日が増えてまいりました。皆さま体調など崩されていないでしょうか？

今月を振り返りますと、お祭りや準備に関わる時間が多く、今までなかなかお会いする機会がなかった沢山の天龍村の方々とお会いすることができました。

坂部のお祭りのお手伝いに始まり、松島のお祭り、満島神社のお祭りは友達の結婚式で行けなかったのですが、今は侍いもフェスティバルの練習をしています。(笛に初挑戦中)

松島のお祭りで特に印象的だったのが、やはり旗やしめ縄を飾った後にガラッと変わる神社の雰囲気でした。厳かで幻想的で懐かしい不思議な空間に圧倒されました。

お祭りの多い天龍村、こういった文化を繋いで守っていきたいと素直に感じました。

もう一つ報告といたしましては、ついに炭が焼きあがりました！

教えて頂くのに精いっぱいで「私が焼きました」なんてまだまだ申し訳なくて言えないのですが、最初から最後まで携わらせて頂いたので、出来上がった時は本当に感動しました。袋に詰めて、パッケージも作ってみました。炭焼きの動画はケーブルテレビでも流れているので、良かったら見てください。これで終わらず、自分だけでも焼けるように継承していきたいです。くらみさん、本当にありがとうございました！



(文:西野明花)

今月の明花

10月は村内お祭りが多く、3年目になってもまだまだ初めて知ることが多くて、毎回楽しませていただいています。外から見に来た人も楽しめるようになったらこの先も続くように」まずは、自分自身の暮らしのいなど今年もOB小柳隊員の協力の元満島神社秋祭り基盤をつくりつつ、ここの伝統文化・暮らしをつなぐ人になれたらしいなと思っています。

そして、私事ではありますが、今回の新聞を持ちまして一旦出産に向けての準備に入りたいと思います。今芋フェスティバルが控え、11月18日(日)の文化祭の段階では2019年11月に復帰する予定でいますが、初めてのことにドキドキしています。村にはたくさんの先輩方がいるのでとても心強い限りです。時にはアドバイスをいただければと思います。

～2年2か月を振り返って～

学生時代から村が好きで通い、だんだんとここで暮らしありが隊として活動してきました。①暮らしの質向上のために、お店の紹介記事の発信・持ち寄りごはん会・焼肉大会などを行い、お祭り運営に関わらせて頂き、②外との関係づくりのために、山村体験ツアーや大学の授業の受入れ、他地域と物々交換販売、CM大賞でのPR動画作成などを行ってきました。

文字に起こすと、たった数行で、この活動で村に変化があったかというと何も起きていないと思いますが、



その他にも、村で行いたい計画を膨らませつつ、復帰後引き続き行う予定です。また、協力隊OBOGをはじめ、立ち上げ途中のNPO法人TSUMEMOGAKIの一員として活動を行っていく予定です。

これからも村で暮らしていくのでどうぞよろしくお願いいたします。